

第1回 広陵町政策推進審議会 C部会 議事要旨

I 開催日時 令和7年11月11日(火) 午後2時00分から午後3時30分まで

II 開催場所 広陵町役場3階 第1委員会室

III 出席者

<委員>4人

窪田委員、石川委員、杉本(雅)委員、辻委員

<担当課>5人

秘書人事課長

協働のまちづくり推進課長

住民課長

税務課長

総務課長

<事務局>5人

総合政策課 栗巢補佐、岡崎、河井

フォーティエンスコンサルティング株式会社 高橋、虻川

IV 次第

1 開会

2 部会長の選出

3 議事

(1) 前期基本計画における指標達成状況について

(2) 住民アンケート結果について

4 その他

5 閉会

<配布資料>

資料 1: 前期基本計画における指標達成状況(基本目標7)

資料 2: 広陵町住民アンケート調査報告書

参考資料: 広陵町政策推進審議会設置条例

V 議事内容

1 開会

2 部会長の選出

○窪田部会長を選出

3 議事

(1) 前期基本計画における指標達成状況について

○事務局から前期基本計画における指標達成状況（基本目標7）（資料1）について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

（A委員）

2 ページ目の後半で子育てや介護を理由とする離職率の増加につながったということだが具体的な数字を教えてください。

項番16の累計滞納額148,043の桁を教えてください。

長期滞納の大口案件がいくつかあったと思うが、きちんと財産把握して、執行停止も行った方が良いように思う。実際に行っているか。

項番23の共同利用施設の具体的な施設名を教えてください。

協働のまちづくりの推進は住民との協働もあると思うが、それは項番29の指標に現れてくるのか。

（担当課）

子育てや介護を理由とする離職率は、令和2年度の1.85に対し、令和6年度では0.49となっており減っている。子育てや介護で離職する職員が多かったため、正規職員のための両立支援ハンドブック作成等の取組によって減ったと考えている。令和2年度では2人、令和6年度では1人が離職している。

（担当課）

累計滞納額の単位は千円となっている。長期の大口滞納者について、財産調査も行っているが、執行停止についても要件があるために簡単にはできない。適切に行っているという状況となっている。

（事務局）

相互利用の対象施設は、体育施設として広陵中央体育館、広陵東体育館、広陵西体育館、広陵北体育館、真美ヶ丘体育館、文化施設として広陵中央公民館（かぐや姫ホール）である。

（担当課）

住民との協働については、施策7-4全体として取り組み、個々の指標では測れない。例えばパブリックコメントの数等の指標は住民参加の度合いを測る指標の一つである。NPOや事業者との協働も行っている。

（A委員）

真美ヶ丘第一小学校区ではまちづくり協議会が立ち上げられており、他の校区に広がっていないという点はこの指標の中のどこに現れてくるのか。

(担当課)

まちづくり協議会の広がりについては現在指標に入っていない。協議会の数等の指標の追加を検討する。

(B 委員)

項番 26 の自治体間の連携事業の指標における分析欄にある「協定」とは具体的にどのようなものか。

(事務局)

東温市とは令和 7 年 2 月に相互連携協定を結んだ。全ての分野での連携という形である。香芝市とも同様の協定を結んでいる。東温市については、先に産業間での協定を結んでいたが今回その分野が広がった形である。

(B 委員)

今年度は広がった分野で具体的に新しい取組等はあるか。

(事務局)

防災の協議で担当間協議をしており、災害時に相互に支援するというものがある。

(B 委員) ※意見のみ

項番 20 の公共施設の長寿命化の指標のように、1 や 2 上がればマルというのは、どうか。目標値を置いてそれが達成できればマルとしては。

項番 31 と 32 の指標の達成状況が逆の評価で進んでいるのか分かりづらい。広報面の取組の進捗状況が分かるよう指標を設定し直しては。

(A 委員)

公共施設の長寿命化のプランニングはどここの部署が行うのか。

(事務局)

担当は総合政策課である。

(A 委員)

長寿命化について、町長選挙で他候補者が挙げていた町役場が入っていないが検討しているのか。

(事務局)

吉村町長が就任され、地元の意向もあり、役場庁舎は行政中枢機能がある施設であることから、すぐに移転するというには無理があると考えている。複合化に向けて取組をしていくが、基本的に公共施設の床面積を減らすという方向で考えている。

(A 委員)

かぐや姫ホールについて、大枠の方針は決まっていないのか。

(事務局)

公民館のかぐや姫ホールの統廃合は決まっており、はしお元気村とグリーンパレスを改修して公民館機能を移転するというのは決まっているが、複合化については住民の方から意見をいただく予定となっている。

(C 委員)

項番 4 と 5 の指標で行政評価の在り方を含めて検討するとなっているが、どのような方向性で検討しているか。

(事務局)

主要事業全部を対象として行政評価を行うとなるとマンパワーが足りないため、現在は手探りで実施しているところだが、見直しの方向性はまだ決まっていない。審議会や部会でご審議いただき確定させたい。

(C 委員)

主要事業と一般事業に分け、主要施策のみ 4 段階とするということか。ランクについては A と B に取り組み、B よりも A の方に力を入れるというように一般的には思われると思う。評価を行った結果 ABCD に分けるというものか。

(事務局)

現在は、主要事業の選定時に 4 段階に分け、C については再検討、D については主要事業から外すという運用を行っている。

(C 委員)

行政評価や政策評価を行う場合の考え方として特に重要なものや結果に不確実性があるもの、つまりしっかりと評価をするものと簡単にチェックするものに分けるという方法がある。資料の記載は主要事業では全て評価を行い、それを四つの種別に分けるということだと思う。

内閣府の考えているところは、これかと思う事業については EBPM でロジックモデルを作った上で追跡調査も外注で行うということだとは思いますが、非現実的だと思っている。誰がやるのだという話だと思う。

指定された事業だけ根掘り葉掘り診断されるのもしんどいということもあるかと思うが全部の施策について同じではなく、これかと思うものにスポットライトを当ててきっちりした指標で評価する必要があると思われる。

評価の結果を活用して ABCD に区分するというやり方もあると思うが、使えるように考えていただけると良いかと思う。

また、項番 7 の広陵町人材育成方針に挙げられている求められる職員像を意識し職務に取り組んでいる職員の割合が、74.6%が高いのか低いのか分からないがもう少し高くなっても良いかと思う。現状どういう事情があるか教えていただきたい。

(担当課)

高い低いは判断に迷うところだが、人材育成基本方針を定めて向上に向け、取り組んできたところである。

(A 委員)

項番 14 の経常収支比率について、令和 2 年度の 94.5 から令和 6 年度には 92.7 となったということだが、財政の自由度が上がっているということで良いか。また、92.7 は奈良県の中では良い方ではないか。

(担当課)

奈良県では、真ん中よりは少し良い程度である。一方、長期的な視点が必要かと思う。給食無償化は 2 億円かかり、ごみ処理の施設の負債の償還も増えていく。

(C 委員)

広陵町の住民アンケートは何年かに 1 度というような形か。

(事務局)

総合計画の策定や更新の際に実施するものは 4 年に一度、個別計画に係るものは、計画ごとに別途実施している。

(C 委員)

項番 24 は住民の方に地域の活動に参加していただきたいというところで設定した指標だと思うが、分析欄に記載の見直しというのは何を見直すのか。

(担当課)

自治会のクリーンキャンペーンや祭りに参加されているのかを測る指標だが、参加というのはどう数えたらいいのかという問題もあり、別の指標に変更することを検討している。

(C 委員)

これは、住民が自主的に何か公共活動をしたことを数えるということではあって、自治体が開いたイベントに来てほしいということではないだろうとは思う。

(担当課)

クリーンキャンペーンであれば協働の観点もあるかと思うのでそういった意味でとらせていただいたらと思う。

(C 委員)

指標を変更した際に何を期待しているのかというところが伝わって、それが指標に現れるものにしていただけたらと思う。

また、項番 31、32、33 のホームページと SNS、広報紙の指標だが、各媒体で発信している情報はそこまで変わらないが、ホームページから SNS に閲覧者が流れているということか。

(事務局)

サウンディング調査をしたが一概にアクセスが多いHPが良いHPと言えるのかという声が聞かれた。困りごとがあるからアクセスするというところがあるため、困りごとがないからアクセスしないというところも考えられるかと思う。LINEで情報発信していることが影響しているとも思う。

(C委員)

ホームページやSNSと広報紙は同じ職員が運営しているのか、それとも例えば広報紙は別の職員が運営するというような体制か。

(事務局)

主にデジタル推進室の広報・広聴係の2名が担当している。

(C委員)

2名が広報紙とホームページをどちらも担当しているということか。

(事務局)

ご認識のとおり。

(C委員)

媒体ごとにうまく使い分けてもらえると良いかと思う。動画で発信等もしてもらえたらと期待している。

(A委員)

以前は月2回広報紙を発行していたところ、現在は月初め1回だが、年々読みやすくなっている。担当の方に伝えてほしい。若い世代があまり読んでいないことは驚きである。

(C委員)

工夫をすれば若い方も見られるということもあるため頑張っていたきたい。

ほかに何かあるか。なければ住民アンケート結果について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

(2) 住民アンケート結果について

○事務局から住民アンケート結果(資料2)について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

(C委員)

細かいところまで見ているわけではないが居住年数を見ても7割近くは20年以上住んでいる。10年未満の人は約17%だが、居住年数が短い人の結果のみを見ることはできるか。

(事務局)

手元にソフトの入った PC がいないため、今は無理だが、後日抽出することは可能。

(C 委員)

アンケートは世帯ごとのものか。

(事務局)

個人に送付しているが、他の人と一緒に回答した人や代わりに回答した人もいたと考える。

(C 委員)

広陵町は新たに入っている人が多いという特徴があるため、新しい人は意見が違うのかどうかというところを考える必要があると考えて発言した。アンケート自体には問題ないと思われる。

(事務局)

6 ページのところの居住年数、居住地域も重要なところになるため、属性間のクロスを行っていく必要があるかと考えている。

(C 委員)

家を買った人の定住意向が強いことは当たり前だと思う。17 歳以下のアンケート結果はあるか。

(事務局)

17 歳以下にはアンケートを実施していないが、町長の意向もあり、町内の中学校や高校、大学においてワークショップという形で意見を聞きに行かせていただいている。高校と大学では町外の方が多いが、移住したくなるようなまちはどのようなまちかというテーマで実施している。

(A 委員)

64 ページの子育て支援の部分と 92 ページの障がい者福祉の充実について、日本全体で少子化が進んでいる一方で、不登校が 5 倍程度になっている。広陵町もミニ開発でたくさん住宅が増えたが、不登校の子が 133 人だったと記憶している。これはフリースクールがなかったことが要因の一つと考えている。子育て支援の数や規模が足りていないという不満の数は少ないが、まだミニ開発が今後も増えると考えられるため、子育て支援の充実が非常に大事だと考えている。

もう一つは、障がい者の数も増え、若年層の自殺が過去最多となっております。このようなところでどう対応していくのかというところを伺いたい。

(事務局)

子育て支援施設も様々あり、B 部会で審議させていただいたところだが、こども園化等により、多様な保育のニーズに対応できるよう努めている。

障がい者福祉の点で言うと施設の数自体は、増えているが、重度障がい児の方の施設が町内にないという課題がある。

(B 委員)

136 ページ以降の財政運営や協働・連携についてよく分からないという意見が多く、どうやって伝えていくかは課題であると考えます。

また、重要度あるいは満足度で防犯カメラが少ないのではないかとこの視点があるが、確かに重要ではあると考えますが、分析につながるものがあれば教えていただきたい。

(事務局)

在来地区に防犯カメラを設置していく計画を立てている。コンビニ等商業施設の防犯カメラが真美ヶ丘の方にあるが、在来地区では少なく、また、空き巣があったというところで、今後在来地区で重点的に防犯カメラを増やすという計画となっている。

(A 委員)

町の予算で設置するのか。

(事務局)

基本的に町の予算で設置する。

(C 委員)

在来地区の方が防犯面での不満が大きいという分析があるのか。

(事務局)

そこまでの分析はできていないが不満の声は在来地区から多く聞いている。

(C 委員)

防犯カメラの話は具体的な段階になっているのか。

(事務局)

今年予算化されており、来年度も予算化の予定となっている。

(C 委員)

それではあまり言う必要もないかもしれないが、防犯ドローンを入れるということもあるかもしれない。田舎の方では獣害対策も含めて行っているというところもある。

(C 委員)

スポーツや文化芸術で評価が低くなっているが何か取りやめた事業等はあるか。

(事務局)

町民体育祭がなくなりスポーツフェスティバルとなったが、子育て世代の方が参加しやすくなったという声もあり満足度が下がる原因とは考えていない。

(事務局)

文化芸術に関しては、公民館の建替えの関係で注目されているというところがあるのかもしれない。

(事務局)

スポーツも文化芸術も一部の人が行うものでそのようなものが満足度・重要度ともに低くなりやすい傾向がある。上下水道については、今年度の料金改定があったため満足度が下がっていると思われる。

(C 委員)

事情があり、値上げをしている等伝え方の工夫をしてもらえると良いかと考える。

(事務局)

37 ページ目ご覧いただければと思うが、公園緑地の管理が不十分といったところが見受けられる。また、使われていない家や農地の不満が少し多い。

(C 委員)

管理が不十分とはどのような意味であると考えられるのか。2 年前草刈りが問題となっていたが。

(D 委員)

シルバー人材センターの方が草刈りを行われるのは時期が決まっているため、このような形で出てくるのかと考える。

(C 委員)

草刈りの頻度が低いということか。

(D 委員)

そうだと考えるが、予算の都合上、高い頻度で草刈りを行うのは難しいのではないか。

(C 委員)

ボランティアの力を借りる、機械化、自動草刈り機の導入も良いのかと考える。自動草刈り機は値段が下がってきているところがあるので検討しても良いかと考える。

(D 委員)

刈っても捨てる場所がないという問題もある。

ほかに何かあるか。なければ次第の 4 について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

4 その他

- ・議事要旨及び資料の公表について
- ・次回以降の日程について（12月9日火曜日午後2時から）
- ・行政評価に係る部会について（1月中又は2月中旬以降に実施予定）

5 閉会

（以上）